

松山高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科・理数科	生徒数	(男) 951 (女) 0	計 951					
ホームページ	https://matsuyama-h.spec.ed.jp/										
アクセス	東武東上線東松山駅東口から徒歩15分										
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○普通科7クラス、理数科1クラス(普通科1年生は少人数学級編制) ○普通科は2年生より文理クラスに分かれ、目標の4年制大学を目指す。 ○普通科に特進クラスを1クラス設置、密度の濃い学習で国公立大学を目指す。 ○理数科は科学的思考力や想像力を高め、探究的態度を養成し、理工系・医薬系大学を目指す。 ○SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定を受け、大学や研究機関との連携により最先端の科学技術に触れるとともに、高度な実験・実習を体験する。 										
活躍が顕著な部活動	<p>【R1全国大会出場・全国規模の大会等で入賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ソフトテニス部(インターハイ個人・国体埼玉県代表選手) ○新聞部(全国総文祭他) ○生物部(厚生労働大臣賞) ○映像制作部(NHK杯全国高校放送コンテスト) ○書道部(全国高校生大作書道展個人作品) <p>【R1関東大会出場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技部(関東高校陸上競技大会個人) ○スキー部(関東高校スキー大会個人) 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ○松高祭(9月)文化部の研究・作品発表、数々のイベント、模擬店等 ○体育祭(10月)近隣の陸上競技場にて本格的に開催。 ○比企一周駅伝(11月)比企郡一周約60kmをクラス対抗でタスキを繋ぐ。 ○立志講演会(1月)世界で活躍する本校OB等を招いた講演会。 <p>他、校歌応援歌練習(4月)、新入生歓迎球技大会(5月)、修学旅行(11月)スポーツ大会(3月)など、多彩な行事で高校生活を彩る。</p>										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者を対象とした様々な進路行事(進路説明会、進路研修会等) ○東松山市との連携(スリーデーマーチ、通学路清掃、まちゼミ等) ○小中学校との連携(科学系部活動の生徒による科学教室等) 										
進路	状況	四大	237人	短大	3人	専門	17人	就職	6人	その他	56人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ○国公立大学合格29名(埼玉大、群馬大、東北大、千葉大等) ○早慶上理GMARCH合格38名 ○主な指定校推薦校(東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、成蹊、成城、武蔵、明治学院、國學院、独協、芝浦工業、東京電機、東京薬科等) 									

(生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

<p>< 本校が求める生徒 ></p> <p>○建学の精神「文武不岐」を实践し、勉学にも部活動等にも意欲を持って取り組み、高い目標に向かって挑戦する生徒</p>
<p>< 詳しい入学者選抜基準はこちら ></p> <p>(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)</p>

3 育成方針（埼玉県立松山高等学校 生徒の成長物語）

未来を切り拓き、社会に貢献できるたくましい大人

松山高校3年間

- 先頭に立つ勇氣
- 他者を思いやる心
- 品格・礼節・責任感
- 幅広い教養・本質を学ぶ



建学の精神である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成します。

- 学習活動** ICTを活用した考えさせる授業、SSHによる探究活動や大学・研究機関との連携理数科目の先取り授業、進路希望に応じた科目選択と進路指導、松高塾・勉強合宿
- 学校行事** 松高祭、体育祭、比企一周駅伝、立志講演会など、松山高校らしい特徴的な学校行事
- 部活動** 運動部16部、文化部13部

松山高校では、これらの教育活動をとおりして、

- 1年生** 松高生としての学ぶべき基本を身に付けます。（教員による丁寧な指導）
- 2年生** 基本をもとに、個に応じて自ら考え行動する力を身に付けます。（主体的に行動する力）
- 3年生** 困難な課題に立ち向かい社会に貢献できる力を身に付けます。（未来を切り拓く力）

松山高校での3年間は決して楽なものではありませんが、男子生徒に特化した教育を行うことで、生徒の持つ可能性や潜在能力を最大限伸ばします。